

あれから 6 年 ……………

「試される地域の絆と防災力」

山鼻町内会連合会会長 阿部 貞夫



昨年の 3 月、本稿に「あれから 5 年」を書きました。そして今また、「あれから 6 年」を書いています。我ながらしつこいと思いつつも、この 1 年、何が変わったのかを考えています。

行方不明者 2,553 名、いまだご家族のもとに帰っていません。さらに仮設住宅入居者 33,854 名、全国各地に避難されている方が 12 万有余と聞いています。

前稿で、真の復興は「心の復興」だと書きました。確かにインフラ等の復旧はかなり進んでいるのは確かですが、そこに住んでいる人、さらにそこに住んでいた人の心の復興はどうでしょうか。移り住んだ地域での虚しい気持ち、心の拠り所を失い、人との絆も見い出せない避難者の実態がこの 1 年間で多く報道されています。特質的なことは原発差別です。あれから 6 年ですが、1 日でも早くすべての被災者の心の安寧が保たれることを願いたいものです。

災害は忘れないうちにやって来る、といわれる昨今、災害後と災害前の災間の対応が大切です。この間の防災・減災に対する真摯な取り組みが必要であり、災害はいつかやって来ると普段から意識していることが大切です。

この 1 年のうちに、熊本震災がありました。大変な被害でした。北海道を襲った豪雨災害も大きな被害をもたらしました。「線状降水帯」という想定外の事態への適応策も常日頃から考えておかねばなりません。地球温暖化に伴い、今後、大雨の量や頻度はますます増えることが予想され、水害が避けられないという前提で社会が適応し、準備をしておくという考え方（水害への適応策＝室蘭工業大学中津川先生）が必要だといわれています。札幌市や周辺には、「西札幌」、「月寒」、「野幌丘陵」の 3 つの活断層の存在が示されており、震度 7 の直下型地震が起きる可能性も想定されています。豪雨災害、土砂崩壊などへの適応も普段から、即ち災害の発生しない時から考えることが究極防災・減災につながると思います。しかし、何も無い時は何もしたくありませんが、札幌は安全だから、山鼻は安全だから何もなくていいとは誰も思っていないと思いますが、万が一の災害に適応するためのそれぞれの「地域防災力」が今、試されているのです。

それぞれの地域のひとりひとりの助け合いをもとにした強い絆が、災害時のいざという時の「いのち綱」(3/11 某紙朝刊)となる可能性が指摘されています。

今一度、地域の防災力を考えてみるためにも、ひとりひとりが「いのち綱」につながれたコミュニティーの再構築を目指したいものです。

社会福祉部

福祉活動の向上のために ～福まち町内会役員研修会～

少子高齢化が進む中、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指し、山鼻地区福祉のまち推進センターの事業に協力し、福祉全般の向上に努めました。11月28日に行われた「福まち町内会役員研修会」では、区役所職員を講師に招き、介護保険制度について学びました。制度改正が相次ぎ、複雑な内容でしたが、参加者たちはメモを取りながら熱心に学びました。



総務部

今年もよい一年になりますように！ ～山鼻地区新年交礼会～

山鼻地区新年交礼会が1月12日、札幌東急REIホテルにおいて、各町内会、地区内関係諸団体、札幌市、陸上自衛隊札幌駐屯地、道・市議会議員、学校関係者等の方々にご出席をいただき開催されました。

阿部町連会長の年頭あいさつに続き、陸上自衛隊の飯盛札幌駐屯地司令さん、木内中央区長さんから祝辞を頂戴し、山鼻地区民生委員児童委員協議会の酒井会長さんによる祝杯をいただきました。世古知巳さんの大太鼓の演奏や、有志によるカラオケで盛り上がり、山鼻地区交通安全実践会の吉原会長さんの乾杯で幕を閉じました。ご参加いただきました皆様、準備に当たった第4ブロック各町内会の皆さんに改めてお礼申し上げます。



防火部／防犯部

地域全体で安心・安全なまちづくりを ～防火・防犯部等合同研修会～

10月12日、各町内会防火部、防犯部及び地域安全関係者31人が参集し、合同研修会が開催されました。中央消防署山鼻出張所の川島所長さんからは最近の火災状況や放火を招かない環境づくりについて、また、今回特別に防犯設備士の方を講師に招き、実践型防犯教室で効果的な防犯対策について学びました。

これからも住民同士が声を掛け合い、地域全体で安心・安全なまちづくりを行っていきましょう。



交通部

車はもちろん、自転車の事故にも気をつけて

平成28年の全道交通事故の死者数は158人と、近年減少傾向にあるものの、負傷者は13,000人を超えています。普段からのちょっとした注意や心掛けで、事故を未然に防げる場合もあります。啓蒙

活動や研修会・講習会など地道な活動ではありますが、交通事故の減少につながると考え今後も活動を続けます。

◆山鼻町連等の交通安全行事◆

- ① 小学校入学式交通安全特別啓発
4月6日(水) 地区の4小学校 約100人参加
- ② 交通安全・防火・防犯・清掃の集い
7月2日(土) 中央区ゲートボール場 約500人参加
シートベルト体験や消防はしご車の試乗、救急指導やごみ分別などのコーナーで学びました。雨のため、街頭啓発は中止となりましたが、参加者たちは交通安全や防火などへの意識を高めました。
- ③ 自転車安全利用教室
7月28日(木) 山鼻児童会館 60人参加
7月30日(土) 山鼻かしわ児童会館 26人参加
子どもを対象に、自転車用シミュレーターを使用して安全な運転の仕方を体験しました。
- ④ 秋の交通安全街頭啓発
9月21日(水) 石山通 約120人参加
- ⑤ 交通安全講話会
11月17日(木) 山鼻会館 40人参加
札幌方面南警察署の木村係長さんを講師に招き、冬期間の交通事故防止についてのお話を交えながら、歩行者シミュレーター体験を行いました。横断歩道を渡るときも車は必ず止まると思わず、運転手の目を見てから渡りましょうとのお話には、参加者たちは事故の危険性を再認識し、心を引き締めました。



《7/2 交通安全・防火・防犯・清掃の集い》



《7/28・30 自転車安全利用教室》



《11/17 交通安全講話会》

保健衛生部

白石清掃工場などを見学しました ～保健衛生部施設見学会～

10月5日、各町内会から34人が参加し、白石清掃工場と福山醸造で施設見学を行いました。

札幌では現在、発寒、駒岡、白石清掃工場が稼働しています。その中でも、平成14年に竣工した白石清掃工場は最新の設備を保有し、1日900tの焼却能力があり、中央監視室の3人程度で工場全体の状態を監視・コントロールしています。焼却炉で発生した熱で蒸気タービンを回し、30,000Kwを発電し、北電に一部売電している唯一の清掃工場です。参加者たちは、清掃工場のこうした仕組みについてじっくりと説明を受け、ごみを減らすために何ができるかを考えました。



体育部

多数の参加、ありがとうございました ～面白くわくわくスポーツ大会～

9月22日、幌南小学校グラウンドにおいて、山鼻スポーツ振興会主催の「第11回面白くわくわくスポーツ大会」が開催されました。この行事には町連が協賛しており、各町内会などから160人余りの方々が参加しました。

でかパンツ競争、ラグビーボールリレー、バケツリレー、玉入れ競技などの多彩な種目で、個人競技とブロックごとに分かれての団体戦を楽しみました。今回は第2ブロック（第7、8、9、13西、13東、14東の各町内会）が優勝しました。



よく頑張りました！ ～少年野球チームを表彰～

11月3日、山鼻地区内の少年野球チームへ山鼻町内会連合会会長賞の授与が行われました。本年度の山鼻地区少年野球大会リーグ戦戦績に基づいて、阿部町連会長から各チームへ優勝杯と参加賞が、熊谷町連副会長からは副会長賞がそれぞれ授与されたほか、町内会で組織する山鼻スポーツ振興会から特別敢闘賞が授与されました。表彰式には各選手の父兄や関係者などが多数参加し、選手の健闘を讃えました。



<平成28年度の順位>

《優勝》	幌南ファイターズ	〈2位〉	山鼻アカシアーズ	
	〈3位〉	伏見カーディナルス	〈3位〉	中南イーグルス

女性部

学びながら親睦を深めました ～女性部研修旅行など～

今年度は各町内会の役員改選があり、女性部長も新たな人が加わってスタートしました。

◎研修旅行（9月28日） <第2ブロック担当>

42人が参加し、リニューアルしたばかりの豊平館を見学しました。建造物としての豊平館の成り立ちについて、札幌の歴史と合わせて、ボランティアガイドから丁寧な説明を聞きました。館内のしつらえや装飾など、その美しさや壮大さを感じ入り、歴史的背景も学ぶことができた貴重な時間でした。その後、定山溪温泉「森の譚」に移動し、日頃の活動についての意見交換を行いながら親睦を深めました。

◎中央区みんなの講演会（10月18日） <第1ブロック担当>

教育文化会館での講演会で、山鼻地区はこれまでパネル展での発表でしたが、今回は初めてステージ発表に挑戦しました。江戸芸「かっぱれ」を披露し、大変好評でした。

◎女性部新春の集い（2月1日） <第4ブロック担当>

札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて開催され、今後の活動に向けて懇親を深めました。